

青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

日本医労連 FAX: 03 - 3875 - 6270 email: n-ootani@irouren.or.jp

- * このニュースは各県と各県青年部の代表(分かる範囲で)に送ります。
メール配信や会議での配布など、多くの青年に渡るようご協力ください。

青年学習交流集会アンケートから...パート

グループワークについて...講演を聞いてグループに別れ、ニュースや壁新聞を作成しました

・時間が短かった(一年目女)

・議題から話がそれて、青年部とは何なのかという話になったが、私自身入職して二年目でよくわかってなかったことだったので、いろいろな人の意見や考えを聞いてよかったと思います(二年目男)

・意見をみんなで集めてまとめていく作業が楽しかった。学びをすぐにまとめることで理解を深めることができた(四年目男)

・講演を受け、なぜ昔は労働運動が盛り上がったのに、今はそうならないのかについて話し合い、今後頑張っていくうえで何が必要か話し合いました。そこでまず、「学習が必要だ!」となりました(六年目女)



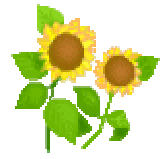
分科会 について...「猛獣狩りゲーム」でグループに分かれ、休み時間や時間外労働など身近な問題から、憲法・労基法を学び、権利を知る手がかりにと企画しました

・基本的な労働に関する知識を学ぶという企画は、身近な問題なので議論が深まったと思います。大変よいと思いました(三年目男)

・労基法及び憲法をうまく使い、私たちの権利を守っていかなくてはいけないと思いました。独立法人化により、私たち国立病院の賃金職員の身分はますます厳しくなりました。労働組合と協力していきたい。(三年目男)

・賃金・労働条件について知らなかったことや、曖昧だったことを労基法に基づいて説明していただき、勉強になりました。もっと労基法を勉強しないと...(四年目男)

・おもしろかった。テーマに沿っているような意見が出た。休憩と手持ち時間について学んだ。今まで「どうなん?これって?」みたいな休憩、労働時間について勉強し、これから職場でおかしいことに気づいていけるよつになるっつて思えた。(六年目女)



…前ページからの続き…

・前日の講演を受け、たたかっ
ていくためには「学習が必要
だ!」となった後だったので、
タイムリーに 分科会に参
加することができて、すっごく
楽しかったし労基法で守られ
ている私たちの権利と、それが
守られていない現場実態を考
えることができ、有意義でし
た(六年目女)

・講演のなかで「法律があるか
らOKではない」という話の通
り、法律で決められていること
でも組合を先頭に職員が声を
上げて主張しないといけない
ことを確認できた

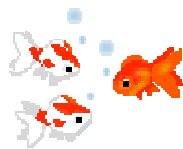
* 分科会の感想は次号で
紹介します。また、ケースス
タデーの中身や参加者の回
答質問も次号以降で紹介し
ていきます



ブロックアクトの夏スタート トップバッターは中国

中国ブロックアクトまであとちょっと。今回は『安芸の宮島』で6月26日・27日に開催です。企画等の打ち合わせはバッチリ(^^)v。あとは参加者集約と快晴を祈るだけです。今回のブロックアクトは全国で最初に開催されるから、チョッピリ不安もあるけど、実行委員力を合わせて頑張ります!また感想を紹介します。乞うご期待(^Q^)/

(岡山県医労連青年部 部長・濱村裕子さん、全医労長島支部 日本医労連中国ブロック青年委員)



和歌山でプレアクト 嵐の中でバーベキュー交流会 20名をこえる仲間が参加~兵庫、奈良の青年もかけつける

6月19日午後5時すぎ、煙樹ヶ浜に集まり炭火をおこす。…雲行きが怪しくなり、雨が落ちてきた。急遽全医労和歌山支部の組合員の知り合いのお店の軒下を借りることに。ブルーシートを天井かわりに張って雨を凌ぎ、炭火をおこす。これが雨のためか、なかなか炭がおこらない。四苦八苦の末、ようやく炭がおこりだし、バーベキューが始まりました。狭い場所に20名もの仲間が雨に濡れながら楽しく交流が始まりました。

腹ごしらえが終わった頃、各組合から参加の皆さんの自己紹介。この日、兵庫と奈良の青年部の皆さんもはるばる駆けつけてくれました。そこで関西ブロックアクトのお誘いをしてもらいました。ビールは本格的な生ビール樽で最高でした。2次会も最高でした。お世話いただいた全医労和歌山支部の皆さん、ありがとうございました。

次のプレアクト企画第2弾は、7月18日(日)ビーチボールバレー大会です。現在までの参加集約は7単組・支部から8~9チームです。
(和歌山県医労連春闘情報ニュースより)